

第12章 緊急（急な病気や事故）・災害（台風や地震）



1 緊急（急な病気や事故）のときの電話

1-1 急な病気・けが・火事のときは119に電話をかける

日本語が分からなくても、通訳の人と一緒に話をすることができます。

(1) 急に病気になったり、けがをしたら

① 119に電話をかけると、オペレーターが「火事ですか。」「救急ですか。」

とたずねるので、「救急です。」と言います。

② 救急車（急な病気の人やけがをした人を病院に運ぶ車）に来てもらいたい場所や目印を言います。救急車は無料（0円）です。

③ どこが悪い症状と年齢を言います。

④ あなたの名前と連絡先（電話番号）を言います。



ホームページで救急車の呼び方を確認することができます。

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post1.html>

(2) 火事のときは

① 119に電話をかけると、オペレーターが「火事ですか。」「救急ですか。」

とたずねるので、「火事です。」と言います。

② 火事の場所を言います。

③ 何が燃えているか言います。

④ 逃げ遅れた人やけがをした人がいるか言います。

⑤ あなたの名前と連絡先（電話番号）を言います。



1-2 事故や事件のときは110に電話をかける

交通事故やどろぼうなどにあって、警察官にすぐ来てほしいときは、110に電話をかけます。

自分で電話をかけることができないときは、近くにいる人に「助けてください。」

「電話をかけてください。」と言います。

110に電話をかけると、オペレーターが次のことを質問するので、落ち着いて、正確に答えてください。

事故のときは「事故です。」と言います。どろぼうなどのときは「事件です。」と言います。

- ① いつ、どこで、何があったかを言います。
- ② あなたの名前と連絡先（電話番号）を言います。
- ③ 事故の相手や犯人の性別（男の人か女の人か）、人数、年齢（何歳ぐらい）、服装などを言います。
- ④ けがをしている人がいたら、その人について説明します。性別、年齢、どんなけがか言います。



2 災害（台風や地震）

2-1 安全のために準備する

- (1) 3日から1週間ぐらいの食べ物や水、電池、携帯ライトを準備します。
- (2) 逃げるときに持って行く物を入れる袋（非常持ち出し袋）を準備します。
- (3) どこが危険な場所か、どこに逃げたらいいか「ハザードマップ」をチェック

します。

※ ハザードマップは、災害が起こる危険がある場所や避難場所が書いてある地図です。

※ 避難場所は、災害から身を守るために、一時的に避難する場所や施設のことです。 <https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/3/8213.html>

- (4) 住んでいる地域で「防災訓練、避難訓練」に参加します。
安全に逃げる練習や、火を消す練習をします。安全や危険について勉強できます。

- (5) 家の近くに住んでいる人に、「もし、地震などがあったときに、いろいろ教えてください。」とって、お願いしておきます。



○ 「安全・安心のまち「三木市」へようこそ」

これは自然災害から身を守る「防災」に関するチラシです。ホームページを見てください。（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語）

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/14/26155.html>



○ 「子どもと親の防災ガイドブック」

7つの自然災害（地震、津波、台風、大雨・洪水、土砂災害、雷、竜巻）の日ごろの備えや避難時の注意事項がまとめてあります。



<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/guidemap.html>

2-2 情報を調べる

(1) ひょうご防災ネット・ひょうごEネット (Hyogo Emergency Net)

緊急情報（地震情報、津波情報、気象情報）、避難情報等を伝えるシステムです。

登録者には、兵庫県や三木市からの緊急情報や地震情報・津波情報・気象情報をメールで送ります。
<https://bosai.net/>



(2) 「Safety tips」

地震や大雨情報がわかるスマートフォンのアプリです。

○Android:

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>

○iPhone:

<https://apps.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174?mt=8>



(3) 地震や大雨の情報を見ることができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



2-3 安全な場所に移動（避難）する

(1) 災害が発生しそうな場合は、すぐに安全な場所に移動（避難）します。

- 安全な場所がわからないときは、日本人に「どこに逃げたらいいですか？」と聞きます。
- いつ逃げたらいいかわからないときは、「逃げるときを教えてください。」といいます。
- 両方の手を使うことができるように、リュックサックなどに必要な物を入れて持って行きます。
- ガスやストーブの火を消して逃げます。



(2) 避難場所（台風や地震のとき、逃げる所）

三木市では、台風や地震、洪水などのとき、逃げる所を決めています。

公民館やコミュニティセンターです。あなたの家から一番近い所と、行き方を調べてください。わからないときは、市役所の危機管理課に聞いてください。

三木市役所 危機管理課

☎ 0794-82-2000



ちく 地区	ひなんしせつ 避難施設	でんわ 電話 
みき 三木	みきしちゅうおうこうみんかん 三木市中央公民館 Mikishi chuo community center	0794-82-2007
	ふくいこみゆにていせんたー 福井コミュニティセンター Fukui community center	0794-82-7300
みきみなみ 三木南	みきみなみこうりゅうせんたー 三木南交流センター Miki minami koryu center	0794-83-1710
べっしょ 別所	べっしょちょうこうみんかん 別所町公民館 Besshocho community center	0794-82-0072
しじみ 志染	しじみちょうこうみんかん 志染町公民館 Shijimicho community center	0794-87-3814
ほそかわ 細川	ほそかわちょうこうみんかん 細川町公民館 Hosokawacho community center	0794-86-2059
くちよかわ 口吉川	くちよかわちょうこうみんかん 口吉川町公民館 Kuchiyokawacho community center	0794-88-0004
じゅうおか 自由が丘	じゅうおかこうみんかん 自由が丘公民館 Jiyugaoka community center	0794-85-4700
みどりおか 緑が丘	みどりおかちょうこうみんかん 緑が丘町公民館 Midorigaokacho community center	0794-85-7011
あおやま 青山	あおやまこうみんかん 青山公民館 Aoyama community center	0794-87-1300
よかわ 吉川	よかわちょうこうみんかん 吉川町公民館 Yokawacho community center	0794-72-1577

2-4 いろいろな災害 さいがい

(1) 台風・大雨 たいふう おおあめ

- ・台風が来たら、強い風が吹いて危ないから、外には出ません。
- ・波が高くなったり川の水が増えて危ないから、海や川の近くに行きません。
- ・土砂が崩れたら危ないから、山やがけの近くに行きません。
- ・洪水（川の水が増えてあふれる）や土砂災害（山やがけが崩れる）が起こることがあります。どこが危険か、どこへ逃げたらいいかをハザードマップでチェックします。



- ・洪水や土砂災害が起こる危険がある場所にいる場合は、安全な場所に逃げます。

(2) 地震

日本は地震の多い国です。地震が来る前に、部屋の中にある棚やタンスが倒れないようにして、部屋の中を安全にします。



○ 建物の中にいるとき

- ・テーブルの下に入ります。上から物が落ちてきたり、棚が倒れたりして危ないです。
- ・揺れが止まったら、ガスやストーブの火を消します。
- ・地震でストーブが倒れると部屋の中で火事になります。自分で消すことができる場合は、消火器具などで消します。
- ・外に逃げる前に、ブレーカーなどのスイッチを「切 (OFF)」にして、電気を切ります。

○ 外にいるとき

- ・かばんなどで頭が落ちてこないようにして、安全な場所に逃げます。
- ・地震のとき、電車やバスが止まることがあります。急いで帰らないで、安全な場所でしばらく待っています。たくさんの人が同じ時間に帰るので、駅や道が混んで危険です。

○ 車を運転しているとき

- ・ゆっくりと道の左側に車を止めて、エンジンを止めます。
- ・ドアにかぎをかけないで、車にかぎをつけたままにして外に逃げます。

○ 海や川の近くにいるとき

- ・海で大きな地震があったら、津波がくるかもしれません。海や川から遠く離れて、高い場所に行きます。
- ・テレビやインターネットで津波などの情報を調べます。
- ・わからないときは、日本人に「津波は大丈夫ですか？」と聞きます。

○ 逃げるとき

・安全な場所がわからないときは、日本人に「どこに逃げたらいいですか？」と聞きます。

・崖の近くに行きません。崖が崩れるかもしれません。

・津波の危険があるときは、海や川から遠く離れて、高い場所に逃げます。

○ 地震のあと

火はつけません。ガス管が壊れて、部屋の中にガスが漏れているかもしれません。

(3) 家族や友達に連絡したい

地震などで電話がつかないときは、電話会社のサービスを利用します。

わからないときは、日本人に「伝言ダイヤルのかけ方を教えてください。」といいます。

○ 災害用伝言ダイヤル (NTT)

171に電話をかけて、メッセージを入れたり聞いたりすることができます。

NTT東日本 <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

NTT西日本 <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>



○ 災害用伝言版 (Web171)

パソコンやスマートフォンで文字のメッセージを入れることができます。

<https://www.web171.jp/web171app/topredirect/>



○ 災害用伝言板サービス (携帯電話)

携帯電話の会社にもメッセージサービスがあります。

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

KDDI (au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク／ワイモバイル

<http://dengon.softbank.ne.jp/>



(4) 「避難情報」と「警戒レベル」

災害のとき、テレビなどによく見たり、聞いたりすることばです。

避難情報

避難（安全な場所に移動すること）についての情報です。



- ・避難する準備をします。
- ・お年寄りや子ども、避難するのに時間がかかる人などは避難します。



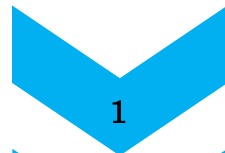
- ・災害の危険が高い
- ・みんな安全な場所にすぐ避難します。



- ・災害が起こっています。大切な命を守ってください。

警戒レベル

津波以外の水の災害や土砂災害が起こる危険レベルと避難（安全な場所に移動すること）についての情報です。



- ・雨や川の情報をテレビやインターネットで調べます。



- ・どこにどうやって避難するか調べます。



- ・お年寄りや子ども、避難するのに時間がかかる人などは避難します。



- ・みんな安全な場所に避難します。



- ・災害が起こっています。大切な命を守ってください。